

# ～「ここすき」学びの記録～ 「ふしぎな遊び」の意味は？

\* Hさんが、何度も繰り返しておこなう「ふしぎな遊び」があります。  
ある「もの」を、「こちら側」と「あちら側」の境界線を越えて、行ったり来たりさせる「遊び」です。  
この「ふしぎな遊び」を通して、Hさんは何を経験し、**どんな力を伸ばしているのでしょうか？**

1) 洗濯バサミを拾うと・・・



2) 窓から家の中に入れます。



3) 家の中には窓から入れた洗濯バサミが3つ。



4) すぐに家の中に入り、洗濯バサミを拾うと・・・



5) 今度は窓から家の外に出します。



6) そして、またすぐに外に拾いに行き、この行為を何度も繰り返しました。



この遊びにはどんな意味があるのでしょうか？ それを考えるための手がかりとして、この「ふしぎな遊び」の前の行動に注目してみましょう。Hさんは、Eさんと次のようなやりとりをしていたのです。

1) 家に来たEさんを見て、笑顔になるHさん



2) 大切にしまっておいた「お手玉」を出して、



3) Eさんにあげたのです！



1～2歳児にとって、「自分の大切なもの」を「相手」に渡すことは一般的に難しいことです。「自己主張」が始まり、その「自分」を大きく育てている時期ですから、むしろ、「渡したくない」という意思をしっかりと示せることが大事です。その力の芽を大切に伸ばし、言葉による表現を開花させていく関わりが大人には求められます。

この場面でHさんは「自分の大切なもの」をEさんに手渡し、その後で、あの「ふしぎな遊び」が展開されました。「自分：相手」＝「家の中：家の外」と考えると、あのふしぎな遊びは「自分」の境界を越えて「大切なもの」を「相手」に渡すことに似ています。もしかすると、Hさんは今、「大切なもの」を誰かとやりとりする力を伸ばそうとしているのかもしれません。